

妙たえの光ひかり

臨時号

2005年4月5日

角田山妙光寺 発行

新潟県西蒲原郡巻町

角田浜 〒953-0011

TEL 0256-77-2025

第一回「初めての参籠修行」厳しく和やかなうちに

お寺に泊まってお経や作法を練習し、仏教と日蓮宗の入門編を学ぶミニ修行体験を三月二十六、七日に行いました。事前に体調を崩した方が幾人か欠席され、十一名が厳しくも和やかなとき過ぎました。内訳は檀信徒五名、安穩会員六名。県内七名、県外四名。男性五名、女性六名。ご夫婦2組。年代は四十台から七十台前半まで。とてもいいバランスでした。

一日目は冷え込みましたが暖房も効いた本堂で、仏事の作法についての講義と実習、お経のなりたちと練習。夕方のお勤め。夕食後は住職を囲んでの交流会が和やかに行われました。二日目は五時に起床して朝の冷気の中、岩屋まで歩いて暗い洞窟内でロウソクを灯しての法要。本堂に戻って朝の法要、掃除。途中の熱いお茶がおいしかった。朝食後は本堂で写経。そしてまとめの講義と実習の後、春の日差しをのびやかな修復なった三重塔の前で読経、塔の中に全員の写経を納めました。

妙光寺にとっても初めてのことで改善点も多く今後に活かしますが、「早く次の段階も受けたい」と言う声があるなど、まずまずの成果だったと思います。同じ入門編の第二回目を五月七、八日に行います。受付中で、四ページにご案内と今回の感想を掲載します。

= 目次 =

「二泊二日初めての参籠修行」報告……………	1
身延山・七面山団体参拝旅行ご案内……………	2
第二回「初めての参籠修行」ご案内……………	4



体参拝旅行のご案内

*行程（詳細は旅のしおりとして事前に配布します。現地参加の方にも詳しいご案内します）

10月2日 (日)	新潟 6:00 — 巻 6:30 — 巻・潟東I.C — (北陸、長野、中央道 経由) — 南アルプスI.C — 身延山 14:00 (お開帳、諸堂参拝) — 北の坊泊
10月3日 (月)	<p><七面山登詣組> 久遠寺朝のお勤め、朝食後バスにて移動。角瀬より七面山登詣 (所要4～5時間) — 敬慎院にて法要 — 七面山泊</p> <p><諸寺参拝・温泉宿泊組> 身延山奥の院参拝 (ロープウエー) — 北山本門寺他参拝 観光 温泉旅館宿泊 (旅館は折衝中)</p>
10月4日 (火)	<p><七面山登詣組> ご来光遥拝 下山 7:00 — 角瀬 11:00 (入浴、着替) 昼食 出発 13:30 — (中央道、途中長野で夕食、北陸道) — 巻、各地 20:30頃</p> <p><諸寺参拝、温泉宿泊組> 温泉旅館8:00 — 青柳昌福寺参拝 — 角瀬 (お万の滝、七面山登 山口往復) 登詣組と合流し昼食後帰路に</p>

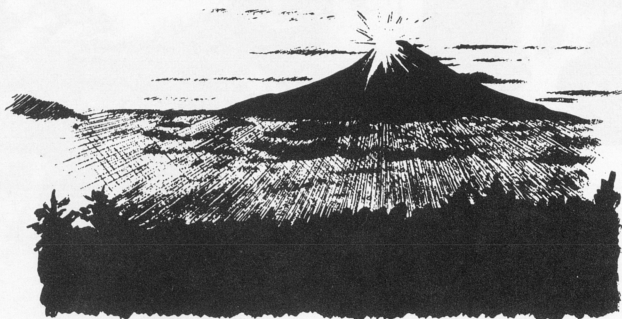
・現地参加者は2日14時身延山本堂前集合 (人数がまとまれば身延駅からのバスも検討します)。4日 13:30 角瀬解散後、バスにて最寄り駅まで送ります。

【身延山久遠寺】

鎌倉時代に日蓮聖人によって開かれたお寺で、日蓮聖人が晩年の9年間を過ごされました。日蓮宗の総本山として総坪数970坪の本堂を中心に伽藍が建ち並び、日蓮聖人を仰ぐ人々の参詣が絶えません。

【七面山】

身延山の西にある海拔1928mの山で、法華経信徒の守護神である七面大明神が祀られています。山頂の敬慎院には参拝の宿泊者2千人が収容できる施設があり、徒歩で4～5時間を要します。雲海をはさんで正面の富士山から登るご来光の美しさはつとに有名です。



身延山・七面山 団

山梨県にある総本山身延山久遠寺と、七面大明神を祀り富士山からのご来光で知られる七面山への団体参拝旅行を下記の要項で行います。従来の行程を短縮して2泊3日とし、費用も軽減して参加しやすい計画です。檀信徒、安穩会員はもとより友人等お誘いあわせご参加ください。

*期 日 10月2日(日)～4日(火) 2泊3日

*人 数 新潟発 — 45人 現地集合解散 — 20人

*費 用 七面山登詣組…………… 37,000円 (現地集合解散 25,000円)
諸寺参拝・温泉宿泊組………… 48,000円 (〃 36,000円)

*主 催 妙光寺 (旅行取扱 JTB新潟支店)

- *申 込
- ・申込書に申込金5千円を添えて各地区世話人か、直接妙光寺へ。
 - ・既に口頭で申込の方も、名簿にはありますが改めて申込書を出してください。
 - ・東京等県外にお住まいで参加希望の方は身延山集合解散でお受けします。
 - ・申込後に都合で取り消された場合は、それまでの経費をご負担いただきます。



身延山・七面山団体参拝参加申込書

①	氏名	住所	電話	・七面山組 ・諸寺温泉組
②	氏名	住所	電話	・七面山組 ・諸寺温泉組

受領書

_____ 様
金 _____ 円

身延山団体参拝旅行申込金として受領しました

月 日 妙光寺

第二回「二泊二日初めての参籠修行」参加者受付中

- ・期 日 五月七、八日（土、日）
 - ・対 象 妙光寺の檀信徒、安穩会員
 - ・申 込 氏名、年齢添えて妙光寺まで
 - ・定 員 十二名（受け付け順にて締め切り）
 - ・費 用 一万二千元
 - ・日 程 一日目 午後一時半集合 作法の講義と実習 お経練習
二日目 早朝法要 写経 法話
三重塔納経法要 昼食
後解散
 - ・参籠（さんろう）とはお寺に泊まって修行することです。
- *詳細は直接ご案内します

第二回「二泊二日初めての参籠修行」参加者の感想の一部

*良かった点

- ・作法に自信がついてよかった。
- ・作法その他、形から入れたことが良かった（2人）。
- ・次の段階に進みたい（3人）。
- ・今まで気づかずに過ごしていたことがわかりました。まさに眼からうろこ。それが一つでないことが喜びであり、今までうかつだったことの証でもあります。問題意識を持つてこれからの人生を生きて行きたいと思えます。
- ・二日間の修行で仏様と少し親しく心があつたような気がしました。
- ・お経の指導が良かった。
- ・食事がおいしかった。
- ・講義で宗のきまり等がわかってよかった。
- ・一期生として三重塔に写経を納経できたこと。
- ・参加人数は11名でしたが、良かったのでは。
- ・正座の仕方から色々話されたことは大変ためになりました。
- ・早朝の岩屋法要が良かった（2人）

*改善して欲しい点

- ・写経を短くしていただきたいかった。大変でした（2人）↓確かに分量が多すぎました。ずっと短くして時間も短縮します。
 - ・お経の内容、語句の意味をもう少し入れてください。次の段階でも結構ですが。↓写経の時間を減らしてやさしくお経の内容を語ります。
 - ・参加者の名簿が欲しい。↓個人情報保護の必要があるので、お名前と県別だけの名簿を検討します。
 - ・講義中に正座をくずしている場合声をかけて欲しい。講義は机でできないか。↓正座を強制しないよう心がけたつもりですが不十分でした。講義は机と椅子でやる時間配分を考慮します。
 - ・講義のレジメ、内容をまとめたものをもらえないか。↓限られた時間内でできることとできないことがわかりましたので、内容をまとめたテキストを用意します。
- ### *その他の改善点
- ・修行にしては食事のボリュームが足りすぎたようです。もう少し質素にして、参加費を下げます。
 - ・日程をこなすことに主眼をおいたので食器洗いやなどをお願いしませんでした。修行なので裏方の作業にも参加できるゆつたりした時間配分を検討します。
 - ・難しいのですがもう少しお経の内容に踏み込んでお話しできるようにしたいと思います。